

令和 6 年度

業 務 概 要

宮崎県身体障害者相談センター

目 次

I 沿 革	1
II 施 設 の 概 要	1
1 所在地	
2 施 設	
III 組織及び職員数 （令和6年度）	2
IV 業 務 の 内 容	2
1 身体障害者更生相談所関連業務	3
（1）相談支援事業	
（2）判定・手帳交付事業	
（3）普及啓発事業	
2 高次脳機能障がい総合相談・支援拠点業務	4
（1）相談支援事業	
（2）普及啓発事業	
（3）研修事業	
（4）高次脳機能障がい通所センター運営事業（令和4年度～）	
判定・相談等日程表	5
V 令和5年度 業務の実施状況	7
1 相談・判定全般の状況	7
2 判定業務の実施状況	8
3 障がい者電話・来所等相談状況	12
4 地域リハビリテーション推進の状況	13
5 身体障害者手帳交付状況	14
6 情報提供・研修等の実施状況	16
7 高次脳機能障がい支援の実施状況	17
資 料 編	
1 令和5年度 身体障害者手帳市町村別交付状況	20
2 令和5年度 更生医療判定（市町村別・内容別）件数	21
3 令和5年度 補装具判定（市町村別・種類別）件数	22

I 沿革

「宮崎県身体障害者相談センター」の前身となる「宮崎県身体障害者更生相談所」は、昭和27年9月に宮崎市恒久に設置された。その前年（昭和26年4月）に設置されていた「宮崎県身体障害者更生指導所」及び義肢製作所（昭和27年6月に宮崎県身体障害者更生指導所に統合）との併設であった。

その後、身体障害者授産施設を併設（昭和31年12月）するなどして業務を拡大していった。昭和44年4月、施設の老朽化、狭小化等に伴い、宮崎市大島町に新築移転した。これを機に「宮崎県身体障害者更生相談所」と「宮崎県身体障害者福祉センター」の併設となった。

移転後、盲人福祉館及び向陽園が順次設置された。昭和47年4月「宮崎県身体障害者福祉センター」が「宮崎県身体障害者総合福祉センター」と名称変更し、「宮崎県身体障害者総合福祉センター」と「宮崎県身体障害者更生相談所」の併設となった。

平成7年4月、障がい者の高齢化や障がいの重度化等に対応するため、リハビリテーション提供機能や情報処理機能を併せ持つ「宮崎県身体障害者相談センター」として、清武町(当時)に移転した。

平成21年2月、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関に指定され、同障がいに関する総合相談、普及啓発等を本格的に開始した。

さらに、障害者自立支援法の施行をはじめとする障がい者支援制度の変遷や地域リハビリテーションの推進、環境の変化などに対応するため、平成22年4月、宮崎市霧島の県総合保健センター内に移転し、身体障がい者や高次脳機能障がい者の福祉の増進に取り組んでいる。

II 施設の概要

- 1 所在地 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島1丁目1番地2
(宮崎県総合保健センター内)
(電話) 0985-29-2556 (FAX) 0985-31-3553
(E-mail:shintaisyogaisya-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp)

2 施設

- 1階 整形外科判定室／補装具相談室／言語療法・相談室
4階 リハビリテーション・交流室(中央保健所との共用)
5階 事務室／聴覚相談室／聴覚検査室／心理判定・相談室

Ⅲ 組織及び職員数（令和6年度）

令和6年4月1日現在

(職員)					
所 長 — 主幹兼主任 —		理学療法士		1	
		作業療法士		1	
		看護師		1	
		身体障害者手帳等事務担当		2	
		庶務担当		2	
					9名
(会計年度任用職員)		高次脳機能障がい支援コーディネーター		1	
	補装具判定事務員	1	更生医療判定事務員	1	
	心理判定員	1	手帳判定事務員	1	
	言語聴覚士	1			
					6名
(嘱託医師等)		整形外科	3	耳鼻咽喉科	1
	内科	2	眼科	1	
					8名
(身障手帳諮問医)		整形外科	3	循環器科	2
		呼吸器・泌尿器・耳鼻咽喉・眼科		各1	
					9名

Ⅳ 業務の内容

宮崎県身体障害者相談センターは、身体障害者福祉法第11条第1項に基づき設置された「身体障害者更生相談所」である。

身体障害者更生相談所の業務の概要は、「設置運営基準」（平成15年3月25日、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、

- ① 身体障がい者に関する専門的な知識及び技術を必要とする相談及び指導業
- ② 身体障がい者の医学的、心理学的及び職能的判定並びに補装具の処方及び適合判定業務
- ③ 市町村が行う援護の実施に関し、市町村に対する専門的な技術援助及び助言、情報提供、市町村相互間の連絡調整、市町村職員に対する研修、その他必要な援助及びこれらに付随する業務
- ④ 地域におけるリハビリテーションの推進に関する業務となっている。

また、障害者総合支援法により、市町村が行う介護給付費等の支給要否決定に関して、市町村の求めに応じて技術的事項についての協力等を行うこととされている。

これらの業務に加えて、身体障害者手帳の認定・交付業務及び聴力に障がいのある者や児の相談・専門的検査を実施している。

さらに、平成21年2月からは、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関として、同障がいに関する支援を行っている。

当センターでは、これらの業務を、身体障害者更生相談所関連業務及び高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関業務に大別し、諸事業を進めている。

1 身体障害者更生相談所関連業務

(1) 相談支援事業

①地域リハビリテーション事業

理学療法士及び作業療法士が、障害者支援施設等の職員や利用者等を対象にリハビリテーションの訓練指導を行うほか、在宅の身体障がい者等に対し住宅改造等の専門相談等、QOL（Quality of Life＝生活の質）の向上のための助言指導を行うとともに、関係団体との連携、協力によって、地域リハビリテーションの推進を図っている。

②総合相談事業

聴こえとことばの相談（毎週火曜日）、高次脳機能障がい相談及びリハビリテーションや補装具等についての相談（随時）を実施している。

(2) 判定・手帳交付事業

①補装具判定業務

補装具について、来所による給付の要否判定及び処方を実施するほか、県内5市(都城、延岡、日南、小林、日向)で巡回判定を行っている。

②聴覚検査相談事業

一般の耳鼻科では検査が難しい者に対して、自覚的・他動的な聴力検査を行っている。また、ことばや聴こえに心配がある児の聴覚検査・聴覚相談を実施するとともに、心理判定員による発達検査や言語聴覚士によることばの指導等を行っている。

さらに、補聴器給付の要否判定を行うとともに、給付された補聴器が最適に使用できるよう補聴器相談を実施している。

③更生医療判定業務

身体障がい者の障がいの除去または軽減を図る更生医療の要否判定を行うとともに、事業の実施主体である市町村が適正に給付できるよう助言を行っている。

④身体障害者手帳交付業務

中核市の宮崎市を除く県内25市町村の身体障害者手帳の認定・交付業務を行っている。

(3) 普及啓発事業

情報提供・PR事業

ホームページ、広報誌「ハビリス」などの発行により、各種手続、相談・判定業務のスケジュール等について、幅広く県民へ情報提供を行っている。

また、宮崎大学医学部4年生及び5年生の実習を受け入れ、障がい福祉業務に関する研修を行っている。

2 高次脳機能障がい総合相談・支援拠点業務

(1) 相談支援事業

①相談支援対応事業

高次脳機能障がい支援コーディネーターや各専門職員による専門性を活かした総合的な相談支援を行っている。

②家族会支援事業

孤立しがちな高次脳機能障がい者やその家族をピアカウンセリング等により支援するため、家族会の活動支援を行っている。

(2) 普及啓発事業

情報誌、ホームページ、ラジオ放送による案内の他、リーフレット・ポスター・チラシ等の配布及び市町村や関係機関の情報紙への記事の掲載、啓発パネル展の開催並びに研修会・出前講座・会議等において高次脳機能障がいの説明を行うなど、啓発を実施している。

(3) 研修事業

医療・福祉・教育・行政関係者等を対象とした研修会を開催している。

(4) 高次脳機能障がい通所センター運営事業（令和4年度～）

高次脳機能障がい者の通所教室を開設し、集団による認知機能の回復や対人技能の向上のための訓練を行うことにより、次のステップ（復職、施設入所等）を目指すための支援を実施している。

併せて、教室の様子を支援者や医療職を目指す学生等に公開することにより人材育成を図ると共に、パブリシティを活用することにより、県民へ高次脳機能障がいについての周知・啓発を行っている。

令和 6 年度 判定・相談等日程表(Ⅳ- 1 -(2) - ①～③)関連)

種 別	期 日 等	時 間
定例判定	◎ 耳鼻咽喉科（更生医療・補聴器）（火曜日）	書面判定
	◎ 内科・整形外科（更生医療）（水曜日）	書面判定
	◎ 整形外科(補装具) ～ 水曜日（3回／月）	診察は午後 2 時から (新規受付は 午後 1 時半から 2 時、 適合判定受付は 午後 2 時から 2 時半)
	4 月 1 0 日、1 7 日、2 4 日	
	5 月 8 日、2 2 日、2 9 日	
	6 月 5 日、1 2 日、2 6 日	
	7 月 3 日、1 7 日、3 1 日	
	8 月 7 日、2 1 日、2 8 日	
	9 月 4 日、1 8 日、2 5 日	
	1 0 月 2 日、1 6 日、3 0 日	
	1 1 月 6 日、2 0 日、2 7 日	
	1 2 月 4 日、1 8 日、2 5 日	
	1 月 8 日、2 2 日、2 9 日	
来 所・ 相 談 等	◎ 総合相談	
	○ひだまり（聴こえとことばの相談）（火曜日）	9：30～15：30
	○高次脳機能障がい相談	9：30～15：30
	◎ 地域リハビリテーション相談（理学療法士、作業療法士）	9：00～16：00
	◎ 補装具、福祉用具等の相談（理学療法士、作業療法士）	9：00～16：00
	◎ 言語評価・相談（火曜日）	9：30～15：30
	◎ 聴力検査（補聴器相談）（火曜日）	13：30～16：00
	◎ 電話やFAXによる相談（月曜日～金曜日）	
電話相談	電 話 0 9 8 5 - 2 9 - 2 5 5 6 F A X 0 9 8 5 - 3 1 - 3 5 5 3	9：00～16：00

令和6年度 巡回（補装具判定）整形外科(Ⅳ-1-(2)-①関連)

年	月	日	曜日	会 場		受付時間
令和 6 年	4	16	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	延岡市以外 新規 13時30分～14時 適合 14時～14時30分 延岡市 適合 10時30分～11時 新規 13時30分～14時
	4	26	金	小林市	(小林保健所)	
	5	10	金	都城市	(都城保健所)	
	5	31	金	日向市	(日向保健所)	
	6	7	金	日南市	(日南保健所)	
	6	28	金	都城市	(都城保健所)	
	7	2	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	8	23	金	都城市	(都城保健所)	
	9	6	金	日向市	(日向保健所)	
	9	27	金	小林市	(小林保健所)	
	10	8	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	10	18	金	都城市	(都城保健所)	
	11	15	金	日南市	(日南保健所)	
	12	10	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	12	13	金	都城市	(都城保健所)	
令和 7 年	1	10	金	小林市	(小林保健所)	
	1	24	金	都城市	(都城保健所)	
	2	7	金	日向市	(日向保健所)	
	2	21	金	日南市	(日南保健所)	
	3	4	火	延岡市	(延岡保健所・県立延岡病院)	
	3	14	金	都城市	(都城保健所)	
計 2 1 回 内訳： 都城市 7 回、 延岡市 5 回、 日南市 3 回 						

V 令和5年度 業務の実施状況

1 相談・判定全般の状況

(1) 定例判定及び来所・電話相談の状況

(単位：人、件)

年 度	取扱実人員	相 談 内 容						判 定 内 容					判定書交付件数
		定例判定	来所・電話相談				計	医学的判定		心理判定	職能判定	計	
			補装具	施設入所	身障手帳	心理相談		その他	更生医療				
30	4,315	803	0	117	64	314	1,298	2,343	610	64	0	3,017	2,953
1	4,449	784	0	109	105	378	1,376	2,350	618	105	0	3,073	2,968
2	4,072	682	0	189	50	365	1,286	2,190	546	50	0	2,786	2,736
3	3,677	853	1	205	73	427	1,559	1,417	628	73	0	2,118	2,045
4	3,526	760	0	176	92	416	1,444	1,429	561	92	0	2,082	1,990
5	3,606	848	0	153	89	295	1,385	1,486	646	89	0	2,221	2,132

※ 更生医療の医学的判定は、書面判定である。

※ 心理相談・心理判定は、カウンセリングを含む件数である。

(2) 巡回判定の状況

(単位：人、件)

年 度	取扱 実人員	相 談 内 容				医学的 判 定	判 定 書 交 付 件 数
		補 装 具	身 障 手 帳	そ の 他	計	補 装 具	
30	154	154	0	0	154	82	82
1	175	175	0	0	175	98	98
2	204	204	0	0	204	102	102
3	167	167	0	0	167	106	106
4	176	176	0	0	176	119	119
5	145	145	0	0	145	103	103

(3) 令和5年度 巡回判定における補装具判定地域別件数の状況

(単位：件)

開催場所	実施回数	車椅子	義肢	装具	座位保持装置	電動車椅子	計
都城市	7	1	28	31	1	2	63
延岡市	5	3	7	19	1	1	31
日南市	3	0	5	10	0	0	15
小林市	3	1	6	9	0	0	16
日向市	3	2	6	12	0	0	20
計	21	7	52	81	2	3	145

※ 給付に関する判定と適合判定との計である。

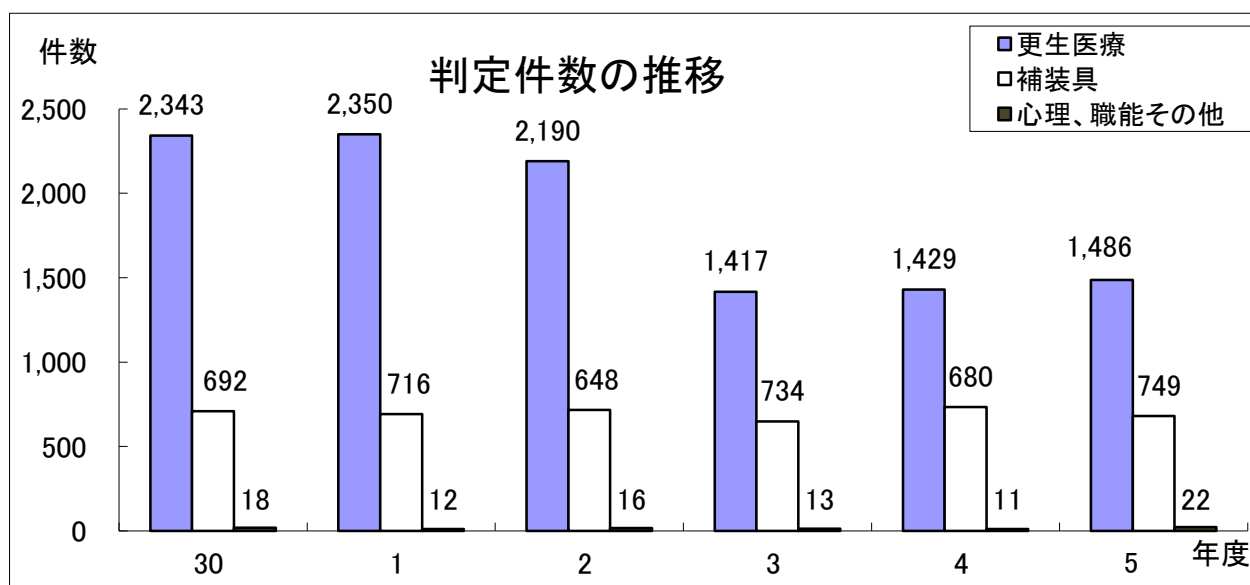
2 判定業務の実施状況

(1) 判定種別件数

(単位：件)

種別 年度	更生医療	補装具	心理	職能その他	合計
30	2,343	692	12	0	3,047
1	2,350	716	16	0	3,082
2	2,190	648	13	0	2,851
3	1,417	734	11	0	2,162
4	1,429	680	22	0	2,131
5	1,486	749	22	0	2,257

※ 給付に関する判定件数である。



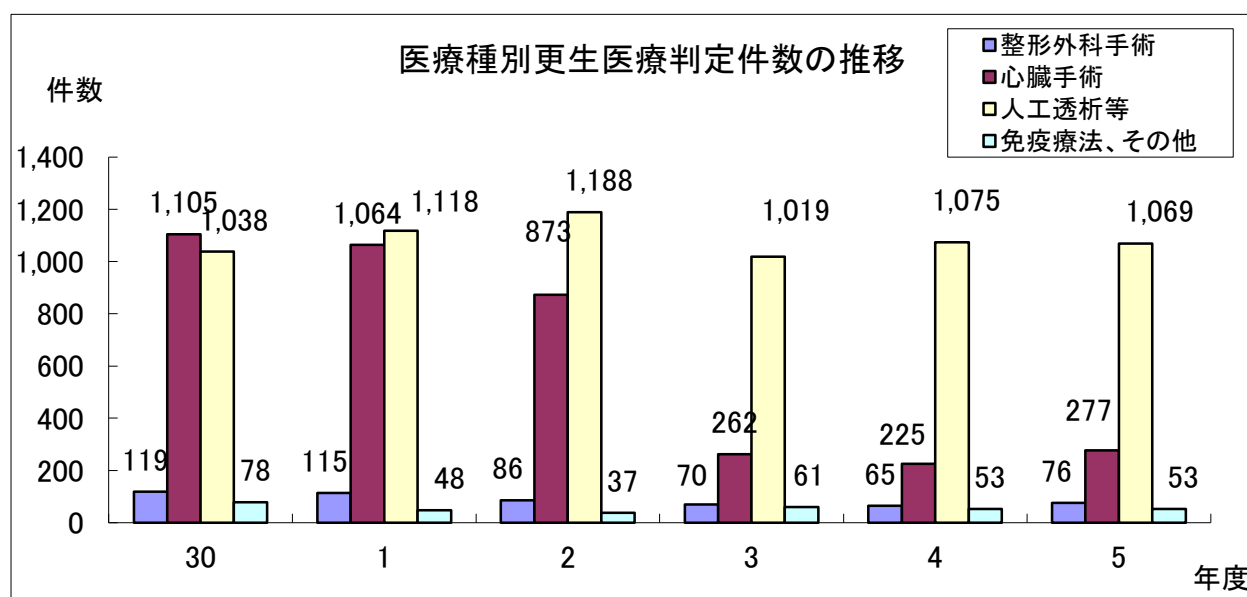
(2) 更生医療判定の種別

(単位：件)

種別 年度	整形外科手術	心臓手術	人工透析等	免疫療法 その他	非該当	合 計
30	119	1,105	1,038	78	3	2,343
1	115	1,064	1,118	48	5	2,350
2	86	873	1,188	37	6	2,190
3	70	262	1,019	61	5	1,417
4	65	225	1,075	53	11	1,429
5	76	277	1,069	53	11	1,486

※人工透析等は、血液透析、腹膜透析、内容変更、腎移植、腎移植の免疫抑制の合計

※免疫療法その他は、免疫障害、眼科・耳鼻科・歯科の手術、肝移植、肝移植の免疫抑制の合計

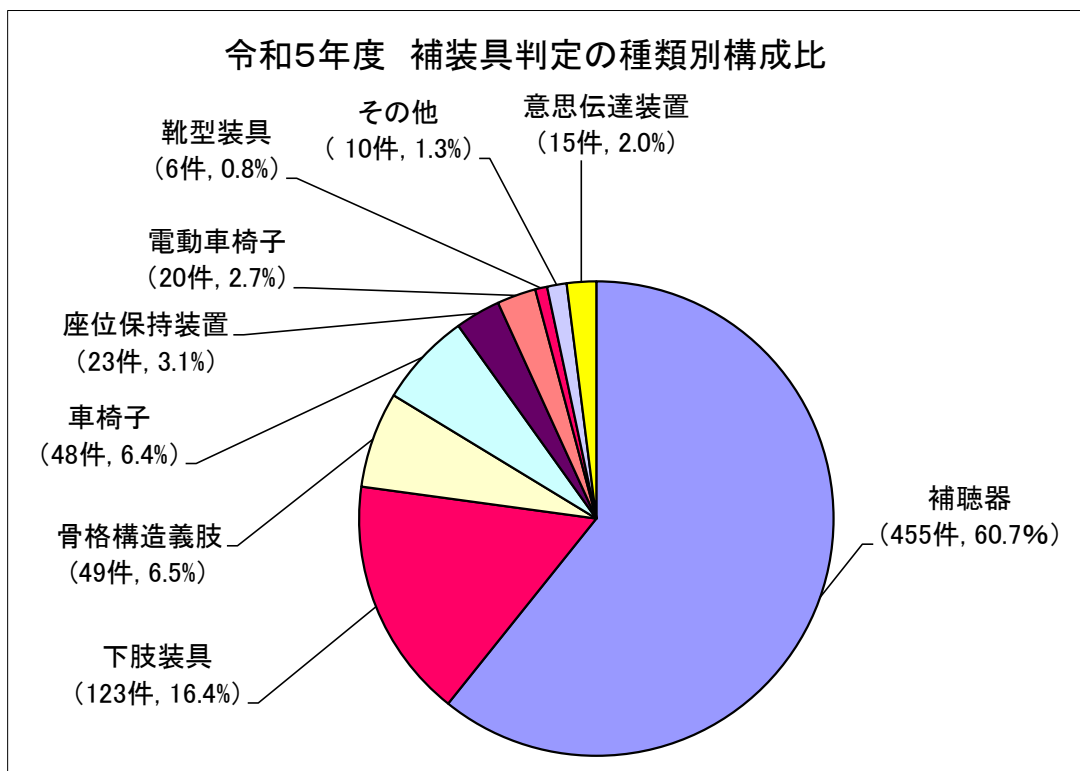


(3) 補装具判定の種類別件数(給付に関する判定)

(単位:件)

種別 \ 年度		30	1	2	3	4	5
車 椅 子		54	58	35	42	40	48
電 動 車 椅 子		22	14	13	18	19	20
小 計		76	72	48	60	59	68
殻 構 造 義 肢		6	5	4	7	2	4
骨 格 構 造 義 肢		58	47	58	64	54	49
上 肢 装 具		3	3	0	0	3	4
体 幹 装 具		0	2	2	2	4	2
下 肢 装 具		111	116	123	140	150	123
靴 型 装 具		11	14	6	4	11	6
座 位 保 持 装 置		39	22	13	20	8	23
小 計		228	209	206	237	232	211
補聴器	ポケット型	16	28	22	16	23	15
	耳かけ型	350	390	353	405	350	431
	耳あな型・その他	10	9	10	10	13	9
小 計		376	427	385	431	386	455
意 思 伝 達 装 置		12	8	9	6	3	15
合 計		692	716	648	734	680	749

※適合判定の件数は、含まない。



(4) 聴力検査及び補聴器相談件数

(単位:件)

種別 \ 年度		30	1	2	3	4	5
乳児検査	A B R (聴性脳幹反応検査)						
	C O R (条件詮索反応検査)	18	13	14	20	11	16
	B O A (聴性行動反応検査)						
幼児検査	プレイオーゾメトリー (遊戯聴力検査)						
	純音聴力検査	79	78	45	72	51	53
	語音弁別聴力検査						
補 聴 器 相 談		5	5	3	2	3	2
計		102	96	62	94	65	71

※ 複数の検査を組み合わせて行っている場合は、重複して計上している。

(5) ひだまり(聴こえとことばの相談)心理検査件数

(単位:件)

種別 \ 年度		30	1	2	3	4	5
心理検査	18才以上	0	0	0	0	0	0
	18才未満	28	50	26	49	35	23
計		28	50	26	49	35	23

(6) ことばの相談・評価件数

(単位:人(延べ人数))

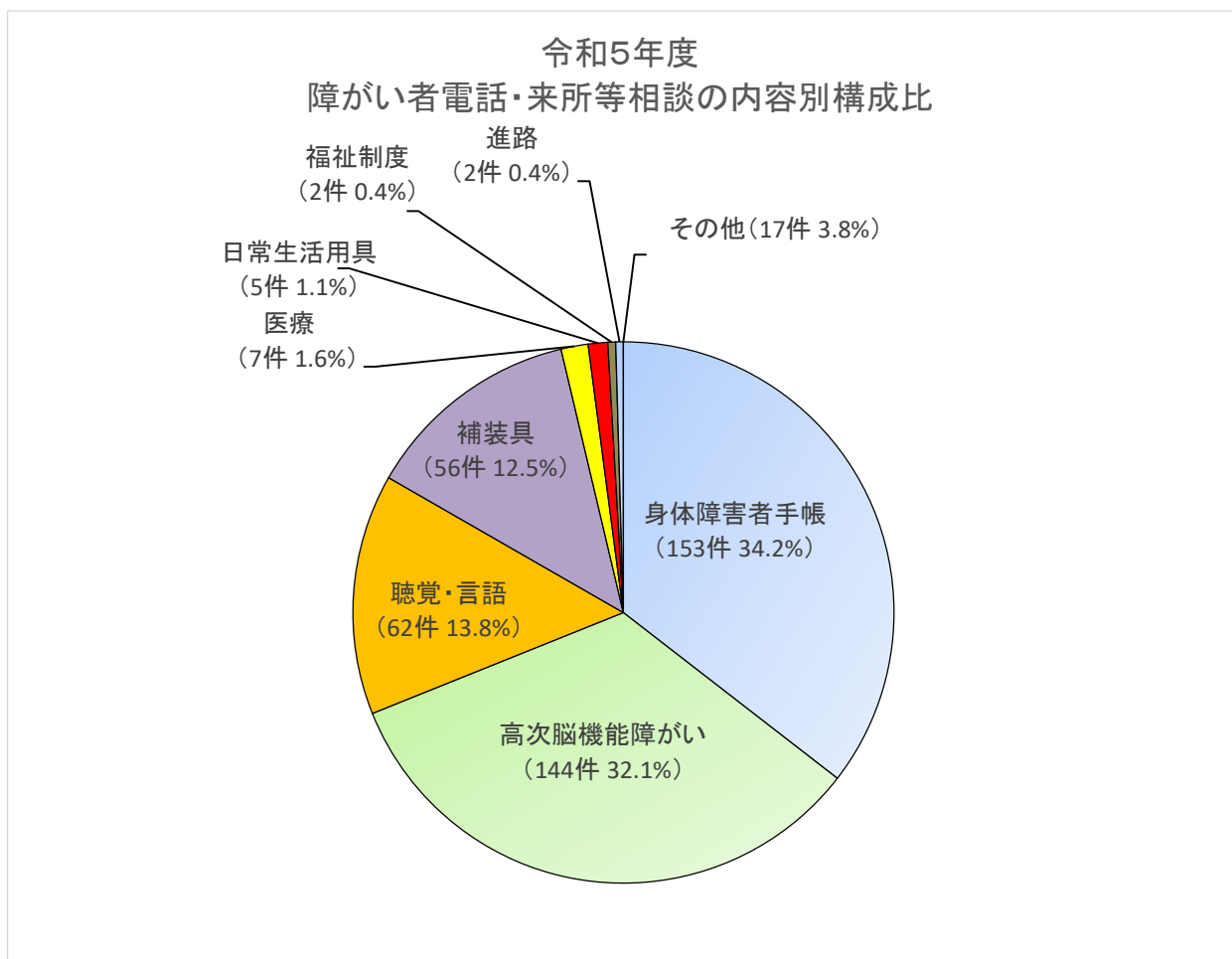
年 度	30	1	2	3	4	5
評価件数	98	108	72	116	103	140

※ 聴こえとことばの相談等の中で、言語聴覚士が言語評価を実施した件数。

3 障がい者電話・来所等相談状況

(単位:件)

相談内容 年度	医 療	補 装 具	身体 障害 者手 帳	進 路	施 設 入 所	生 活	福 祉 制 度	日 常 生 活 用 具	聴 覚	言 語 訓 練 関 係	高 次 脳 機 能 障 が い	そ の 他	計
30	24	112	117	2	0	0	37	0	25	50	183	19	569
1	36	69	109	0	0	1	30	0	18	56	269	4	592
2	32	93	189	1	0	0	18	0	11	60	263	14	681
3	25	42	205	0	1	0	28	0	8	89	239	21	658
4	7	70	176	2	0	0	26	0	8	44	245	14	592
5	7	56	153	2	0	0	2	5	7	55	144	17	448



4 地域リハビリテーション推進の状況

(1) 令和6年度 訪問指導等の実施状況

種 別	施 設 名 (所在地)	実施回数
自 立 訓 練		0回
高次脳機能障がい者通所事業	身体障害者相談センター、 宮崎保健福祉専門学校等	48回
計	延べ人数 226名	48回

(2) 訪問指導等の内容・内訳

(単位:人)

年度 種別	1	2	3	4	5	6
生 活 指 導	99	20	3	0	0	1
福 祉 用 具 相 談	22	10	0	0	0	5
住 宅 改 造 相 談	0	0	0	0	0	0
高次脳機能障がい通所事業				111	226	199
計	121	30	3	111	226	205
実 人 数	5市町村 14回 121人	4市町村 6回 30人	1市町村 1回 3人	当センター等 24回 111人	当センター等 48回 226人	5市町村 等 48回 205人

※延べ人数

5 身体障害者手帳交付状況

(1) 身体障害者手帳処理(受付)件数

(単位:件)

	新規	再交付 (程度変更・別障害)	(却下・取下げ)		居住地等変更	返還	紛失・破損	合計
			却下	取下げ				
令和5年度	2,108(46)	1,990(19)	(38)	(27)	1,147	2,974	99	8,318

※ 宮崎市交付分は含まない。

※ 紛失・破損は、管内8市(権限委譲)による交付分は含まない。

※ 新規・再交付の()内の数は、新規・再交付申請の却下・取下げの内数である。

(2) 身体障害者手帳新規・再交付別交付件数

(単位:件)

項目 \ 年度	30	1	2	3	4	5
新規交付数	2,383	2,350	2,156	1,949	1,965	2,062
再交付数	2,162	2,020	1,891	1,852	2,038	1,971
合計	4,545	4,370	4,047	3,801	4,003	4,033

※ 宮崎市交付分は含まない。

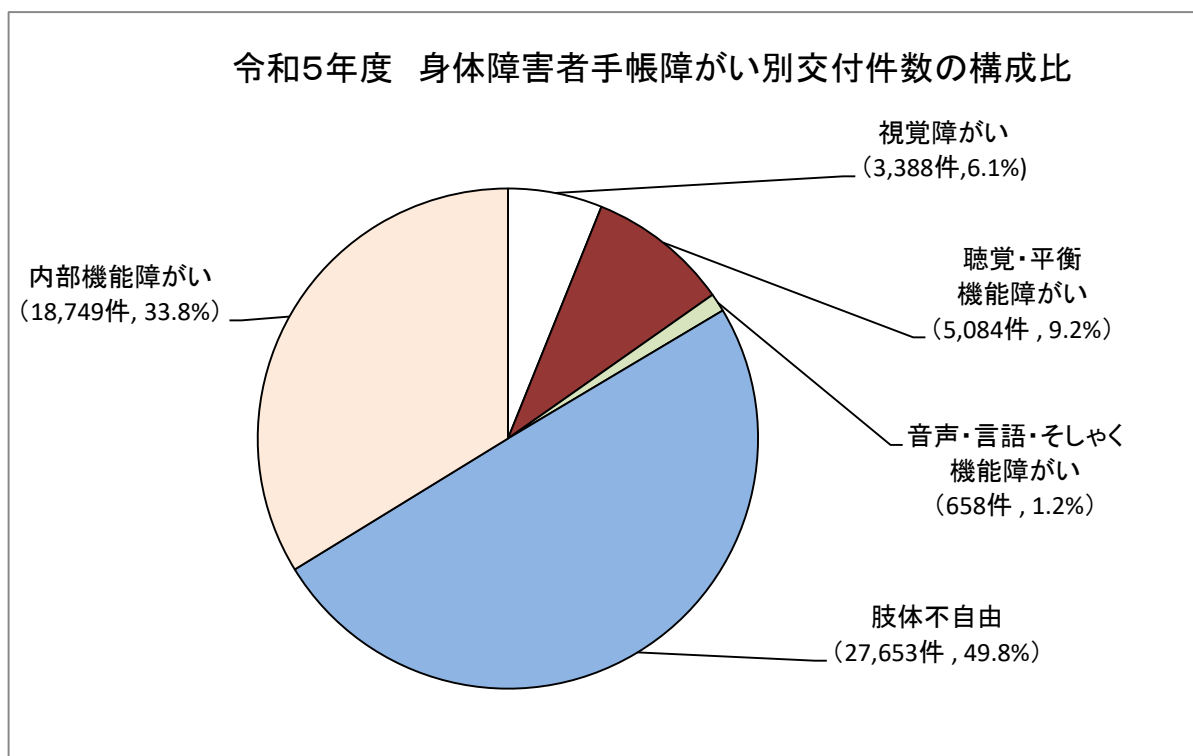
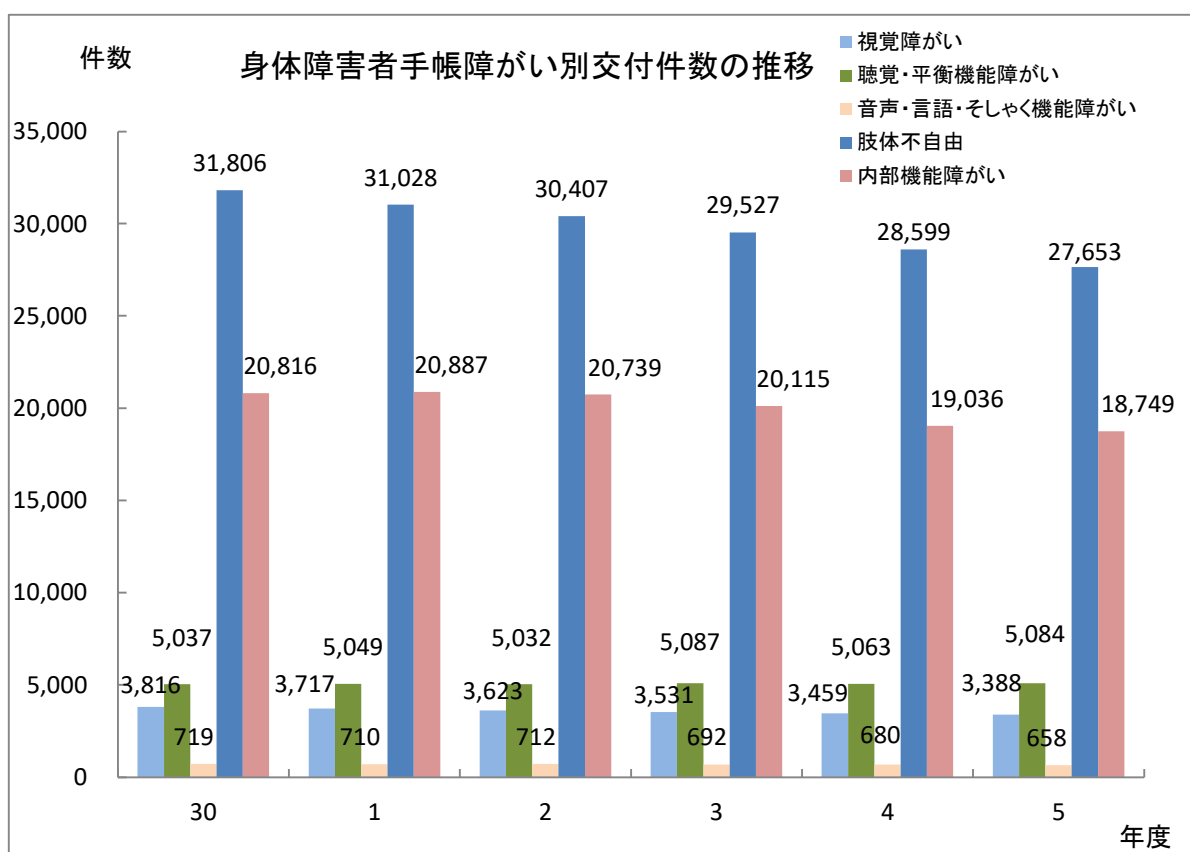
(3) 身体障害者手帳障がい別交付件数

(単位:件)

項目 年度	視 覚	聴覚・ 平衡	音声・ 言語	肢 体 不自由	内 部 障がい		合 計
						(心臓機能)	
30	3,816	5,037	719	31,806	20,816	13,711	62,194
1	3,717	5,049	710	31,028	20,887	13,664	61,391
2	3,623	5,032	712	30,407	20,739	13,457	60,513
3	3,531	5,087	692	29,527	20,115	12,860	58,952
4	3,459	5,063	680	28,599	19,036	11,734	56,837
5	3,388	5,084	658	27,653	18,749	11,478	55,532

※ 宮崎市交付分を含む県計である。

※ (心臓機能)の数は、内部障がいの内数である。



6 情報提供・研修等の実施状況

(1) 情報誌の発行等

○情報誌「ハビリス」の発行
年2回（10月、3月） 3,000部

○ホームページによる情報提供

各種手続、相談・判定業務スケジュール等を掲載

○啓発ポスター、啓発チラシの配布

(2) 研修事業

○市町村身体障がい者福祉関係業務担当国会議

「身体障害者手帳、更生医療、補装具、その他個別事業について」

○宮崎大学医学部生の研修（年18回）

「身体障害者手帳、更生医療、補装具について」

○宮崎保健福祉専門学校生の研修

「身体障害者手帳、更生医療、補装具について」

○補装具製作事業者及び車椅子・電動車椅子等取扱事業者との意見交換会

7 高次脳機能障がい支援の実施状況

(1) 相談支援の状況

①相談件数

相談者別 手段	当事者関連			業務関連	計	当事者関連の 新規・継続の別	
	当事者	家族	支援者			新規	継続
面接	14	7	0	5	26	新規	継続
電話	41	46	21	4	112	89	46
メール・郵便等	5	1	0	0	6	65.9%	34.1%
計	60	54	21	9	144	135	
			30				
	当事者関連			135			

②当事者関連の相談項目別件数（1件につき複数項目ある場合はそれぞれ計上）

項目	確定診断 関連	受療 関連	就労 関連	支援制度 関連	支援 方法	生活上の 訓練関連	社会 参加	葛藤 等	情報 関連	計
数	26	14	3	9	36	23	11	59	56	237

(2) 研修会

①講演会の開催

期日	研修名・講師	会場	対象	参加
令和5年 7月 30日 (主催)	R5 年度第1回高次脳機能障がい啓発セミナー 1. 高次脳機能障がい者の社会生活を考える 講師：なやクリニック医師 納谷 敦夫 氏 2. 地域における高次脳機能障がい者への連携支援について ～通所教室「結」の取組を通じて見えてきた課題（パネルディスカッション） パネリスト 納谷 敦夫氏 宮崎大学附属病院 高次脳機能障がいコーディネーター 作業療法士 中武 潤 氏 潤和会記念病院リハビリテーション療法部 作業療法士 大山 望 氏 宮崎保健福祉専門学校作業療法科 専任教員 清武昌光 氏 みやざき高次脳機能障がい家族会あかり会長 飛田 洋 氏 宮崎県障害者職業センター 所長 高瀬 健一 氏 宮崎県身体障害者相談センター 所長 山本 宣博 氏	オンライン	医療・福祉・保健・行政・教育機関の関係者、当事者・家族、一般の方等	58名

期日	研修名・講師	会場	対象	参加
令和5年 10月 22日 (共催)	R5 年度高次脳機能障がい市民公開講座 1. 大分県における高次脳機能障がい支援の取組み ～共に生きるを考える～ 講師：医療法人光心会諏訪の杜病院 支援コーディネーター 陰山 友紀 氏 2. 令和5年度宮崎県高次脳機能障がい者通所事業 講師：宮崎県身体障害者相談センター所長 山本宣博 氏 3. 高次脳機能障害とリハビリテーション 講師：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 リハビリテーション医学・助教 河村 健太郎 氏	県総合 保健セ ンター	県民	79 名
令和6年 1月 22日 (主催)	R5 年度第2回高次脳機能障がい啓発セミナー 高次脳機能障がい者の就労支援について 講師：社会福祉法人 名古屋リハビリテーション事業団 自立支援部長 稲葉 健太郎 氏	県総合 保健セ ンター	医療・福祉・ 保健・行政・ 当事者・ 家族・一般の 方 等	50 名
令和6年 2月 8日 (委託)	R5 年度高次脳機能障がい講演会 社会復帰をめざす高次脳機能障害リハビリテーシ ョン 講師：国立障害者リハビリテーション 浦上 裕子 氏	県医師 会館及 びオン ライン	医師・医療機 関の職員	69 名

計 256名

② 出前講座の実施（テーマ別）

テーマ：高次脳機能障がいの理解と支援

実施者：高次脳機能障がい支援コーディネーター

期日	対象	方式	参加
2月19日	介護老人保健施設 さわやかセンター	対面	34名
			計34名

(3) 普及啓発事業

- ① 情報紙「ハビリス」発行 計2回
- ② 「リーフレット」「ポスター」「研修会ちらし」等配布
- ③ 県内公共図書館、及び県庁防災庁舎でのパネル展示 計9回
- ④ 講演会開催、研修実施、出前講座、会議等での通所教室「結」関連の情報提供

(4) みやざき高次脳機能障がい家族会あかりの活動支援

- ① 定例会会場の調整、定例会参加 10回
身体障害者相談センターの取組報告及び意見交換等

(5) 会議への参加等

- ① 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会への参加 2回
- ② 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議への参加 2回
- ③ 高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議への参加 1回

(6) 高次脳機能障がい通所センター運営事業（令和4年度～）

- ① 通所教室「結」の開設、運営の概要
(年末年始、祝日を除く) 午後1時30分～3時30分まで
A教室 県総合保健センター
令和5年4月18日(火)～令和5年10月10日(火) 毎週火曜日 全24回
B教室 宮崎保健福祉専門学校
令和5年8月24日(木)～令和6年2月22日(木) 毎週木曜日 全24回
- ② 実績
修了者数：A教室6名 B教室5名(中断1名)
見学者数：延べ268名
報道数：新聞延べ3社、テレビ延べ3社

資 料

- 1 令和 5 年度 身体障害者手帳市町村別交付状況
- 2 令和 5 年度 更生医療判定（市町村別・内容別）件数
- 3 令和 5 年度 補装具判定（市町村別・種類別）件数

1 令和5年度 身体障害者手帳市町村別交付状況

令和6年3月31日現在（単位：件）

市町村名	視 覚	聴 平 覚 衡	音声 言語 そしゃく	肢 体 不自由	内 部 障 害 合 計							合 計
						心 臓	呼吸器	腎 臓	直 腸 ぼうこう	小腸他	肝臓	
宮崎市	1,175	1,560	194	8,050	5,691	3,187	201	1,474	691	96	42	16,670
都城市	436	794	92	5,038	2,589	1,433	111	679	308	33	25	8,949
延岡市	350	593	80	2,786	2,308	1,545	34	497	209	11	12	6,117
日南市	162	327	41	1,545	1,107	725	31	206	128	12	5	3,182
小林市	179	185	27	1,395	751	471	14	148	109	7	2	2,537
日向市	177	296	37	1,553	1,270	881	20	233	115	8	13	3,333
串間市	83	157	14	566	388	241	19	79	45	1	3	1,208
西都市	122	163	25	762	574	372	20	104	69	4	5	1,646
えびの市	79	132	10	738	423	246	27	91	53	1	5	1,382
三股町	80	99	12	769	348	200	24	77	42	3	2	1,308
高原町	36	45	13	365	212	146	7	27	28	2	2	671
国富町	82	97	28	499	399	266	12	74	42	4	1	1,105
綾 町	19	31	5	211	166	120	5	27	12	1	1	432
高鍋町	58	68	10	409	431	281	18	87	39	4	2	976
新富町	37	86	11	386	278	164	9	68	31	4	2	798
西米良村	14	13	2	37	20	12	2	6	0	0	0	86
木城町	15	22	3	170	75	45	3	22	5	0	0	285
川南町	63	82	10	423	332	198	25	74	29	1	5	910
都農町	40	59	7	333	225	141	10	44	25	4	1	664
門川町	39	85	10	435	372	267	5	65	29	3	3	941
諸塚村	8	15	0	77	65	43	1	12	9	0	0	165
椎葉村	23	36	4	135	108	72	8	16	11	0	1	306
美郷町	18	49	8	264	182	149	3	24	5	1	0	521
高千穂町	58	52	9	421	267	160	11	65	29	0	2	807
日之影町	16	23	2	169	80	49	5	18	8	0	0	290
五ヶ瀬町	19	15	4	117	88	64	1	12	8	1	2	243
合 計	3,388	5,084	658	27,653	18,749	11,478	626	4,229	2,079	201	136	55,532

2 令和5年度 更生医療判定（市町村別・内容別）件数

令和6年3月31日現在（単位：件）

市 町 村	整形 手術	心臓 手術	血液 透析	腹膜 透析	内容 変更	腎 移植	免疫 抑制	眼科 手術	耳鼻 科	その 他	非該 当	合 計
宮 崎 市	10	100	148	7	202	9	1	0	1	19	2	499
都 城 市	32	12	58	4	168	1	2	0	0	13	2	292
延 岡 市	10	62	58	4	76	4	2	0	0	3	2	221
日 南 市	4	8	23	2	28	1	1	0	0	1	0	68
小 林 市	4	8	10	0	3	0	1	0	0	1	2	29
日 向 市	2	20	25	0	15	2	1	0	0	8	0	73
串 間 市	2	2	10	0	8	0	0	0	0	0	0	22
西 都 市	0	6	9	2	10	0	0	0	0	1	0	28
え び の 市	1	5	14	1	3	0	0	0	0	1	3	28
三 股 町	7	1	10	1	11	0	0	0	0	0	0	30
高 原 町	0	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	7
国 富 町	1	7	8	0	0	1	0	0	0	0	0	17
綾 町	0	3	1	1	2	2	0	0	0	0	0	9
高 鍋 町	0	13	10	0	9	0	0	0	0	0	0	32
新 富 町	0	2	6	1	7	0	0	0	0	0	0	16
西 米 良 村	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
木 城 町	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
川 南 町	2	7	6	0	17	1	0	0	0	0	0	33
都 農 町	0	2	10	0	16	0	0	0	0	1	0	29
門 川 町	1	3	4	0	2	0	0	0	0	1	0	11
諸 塚 村	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
椎 葉 村	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	4
美 郷 町	0	9	4	0	1	0	0	0	0	0	0	14
高 千 穂 町	0	4	6	0	3	0	0	0	0	1	0	14
日 之 影 町	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
五 ヶ 瀬 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合 計	76	277	430	23	585	23	8	0	1	52	11	1,486

※内容変更は、人工透析にかかる医療内容変更

※全て書面判定の件数

3 令和5年度 補装具判定（市町村別・種類別）件数

令和6年3月31日現在(単位:件)

	車椅子	電動 車椅子	殻 構造 義肢	骨格 構造 義肢	上肢 装具	体幹 装具	下肢 装具	靴型 装具	座位 保持 装置	補聴器	意思 伝達 装置	非該当	合 計	(適合 判定)
宮崎市	26	20	2	20	7	3	93	2	13	170	8	0	364	91
都城市	8	6	2	26	0	1	38	4	6	67	2	0	160	48
延岡市	8	1	0	9	0	2	16	0	6	50	1	0	93	17
日南市	3	2	0	5	0	0	21	0	0	35	0	0	66	15
小林市	4	3	0	8	0	0	12	1	1	10	0	0	39	12
日向市	7	0	1	2	2	0	21	0	1	23	1	0	58	11
串間市	1	0	0	3	0	0	0	1	0	8	0	0	13	3
西都市	4	0	0	3	0	0	9	0	1	15	1	0	33	7
えびの市	0	0	0	2	0	0	4	0	1	7	0	0	14	3
三股町	0	3	0	4	0	0	9	0	0	13	1	0	30	7
高原町	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4	1
国富町	0	0	0	0	0	0	9	1	0	12	0	0	22	5
綾 町	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	2
高鍋町	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	7	2
新富町	3	0	2	0	0	0	4	0	0	10	1	0	20	4
西米良村	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
木城町	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	5	2
川南町	2	0	0	1	0	0	2	0	1	3	0	0	9	2
都農町	0	2	0	0	0	0	2	2	1	5	0	0	12	4
門川町	0	0	0	4	0	0	2	0	0	9	0	0	15	3
諸塚村	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	4	1
椎葉村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
美郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0
高千穂町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	7	1
日之影町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
五ヶ瀬町	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	5	2
県指導監 査・援護課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	69	38	7	95	9	6	252	13	32	455	17	0	993	244

*適合判定を含む件数（適合判定では判定書は交付しない）